

第7回

ミッション × 部活動

人格形成を意識した部活動での指導とは？

「ミッション」の名で親しまれている北陸学院高等学校では、1885年の創立以来キリスト教の教えに基づいた人格教育が受け継がれてきました。生徒と教職員が真摯に向き合う中、一人ひとりの潜在能力が自覚され、表現される内に、進路を含めたキャリア形成を図るという独自の進路指導を実践。丁寧な指導方法は高く評価され、少子化の下にあって年々入学希望者を増やし続けています。本号では硬式野球部の指導にあたる宮浦淳一教諭に、野球部の特徴的な取り組みなどをご紹介します。

北陸学院高等学校
保健体育科教諭
みやうら じゅんいち
宮浦 淳一
Junichi Miyaura

1975年石川県小松市生まれ。小中高と野球部に所属し、中京大学体育学部に入學。大学時代はアメリカンフットボール部で活躍する。スポーツ関連企業での勤務や大学のアメリカンフットボール部監督などを経て、石川県内の公立中学校で講師に。2007年より北陸学院高等学校保健体育科教諭。保健体育科を担当する他、生活指導部長、24H・25H副担任、硬式野球部顧問。

勝つために欠かせない「勝たせたい要素」を育む。



勉強プラスもうひとつ



教育方針は、キリスト教に基づいた「勉強プラスもうひとつ」。生徒たちは勉強はもちろん、部活動や習い事、学校行事などにもバランス良く取り組むことで、自分の使命に向かってどんな学びが必要になるのか考え、行動し、実現しています。

強化指定部



硬式野球・男子バスケットボール・陸上競技女子硬式テニスの4部が強化指定部です。強化指定部での貢献が期待できる受験生には、スポーツ推薦制度もあります。勉強も頑張りながら部活動に打ち込む生徒が多く、顧問は勉強面生活面のサポートも行っています。

充実した施設



トレーニングルームを備えており、運動機器などの設備が充実しています。屋内にあるため、雨天でもしっかりと練習できる環境です。自主練習場としても開放しており、意欲的な生徒たちは技術の向上、勝利を目指して活用しています。

創設14年目の硬式野球部70名の多彩な個性が集う

北陸学院高等学校の硬式野球部は、14年前の2005年に創設された比較的若い野球部です。創部当初は部員数も少なかったのですが、徐々に増え、本年度は3学年で約70名の部員を抱えるまでになりました。他の私立高校の野球部に比べると、多様な目標を持った部員が多いように思います。野球に打ち込むために専願で受験した部員もいれば、勉強との両立を求めて入学してくる部員もいます。難関国公立大学を目指す特別進学コースの部員もあり、文武両道の意識が高い点が本校野球部の特徴といえるかもしれません。

技術指導やチーム編成は米林監督が担当しています。顧問である私の役割は、中学や大学で指導してきた経験を生かして、部員たちに必要なことは何かを主将やマネージャーと話し合い、一人ひとりが主体的に行動できるようにサポートすることです。部活動から学校生活全般の過ごし方まで、部員の成長を見守っています。

覚悟を持って練習に臨み、自ら考え、実行する野球を

取り組んでいるのは、指導者が一方的に教える野球ではなく、部員が自ら考え、実行する野球です。過去を振り返り、これから何をしたいのか、そのために何が必要かを部員一人ひとりが考えます。なすべきことがそれぞれ違うため、人の真似をしたり、漫然とルーティンワークを繰り返すようでは

は進歩は望めません。自分のプレーや取り組み、発言の一つひとつにどんな意味や裏付けがあるのかを徹底的に考え、明確な覚悟を持って臨むことが何よりも重要です。

普段の練習においても、限られた時間内でどうすれば全員が効率よく練習できるかを部員たちに考えさせています。人数が多い状況の下、部員全員がモチベーションを保ち続けるには、やらされるのではなく自らがやるんだという意識が大切です。自分自身がこうなりたい、自分のチームをこうしたいという強い思いを持って毎日を通ります。その繰り返しがいつか進歩に繋がります。部員はそこに野球の真の面白さを見出すのです。



▲電子黒板を使ったミーティング

こうした経験は社会でも役立つのではないのでしょうか。野球は仲間とするスポーツ。仲間がいるから辛くても頑張れます。世の中には思い通りにならないことがたくさんありますが、そんな時でも最後までやりきる力を野球で身につけてもらいたいですね。

文武両道に励み、みんなが応援したくなる選手を育成

勉強面のサポートもきめ細かに行っています。提出物を出しているか、学習意欲は高まっているか。学級担任や教科の教員と頻りに情報交換しており、卒業したOBの中には難関大学への進学を果たした部員も大勢います。また、部員には日頃から「勝たせたい要素を増やさない」と伝えていきます。試合に勝つには「勝てる要素」と「勝たせたい要素」が必要で、「勝てる要素」とは、野球の技術や能力。これは部内で培うものですが、一方の「勝たせたい要素」とは、周囲の人に「勝たせてあげたい」と思ってもらえるような人間的要素で、これは各自が自身で創り出すしかないものです。挨拶や掃除を率先して行ったり、勉強を頑張ったり。懸命に努力する選手たちの熱意が「応援したい」気持ちを喚起できれば、それはきっと勝利に繋がると考えています。

一昨年より夏の県大会初戦から全校応援が実施されるようになり、校内の一体感もますます高まってきました。全校の期待に応えるためにも、勝てるチームづくりを進めなければなりません。「勝たせたい要素」を身につけ、明確な覚悟を持って野球に臨める選手をどれだけ育成できるか。これが私の使命だと思っています。最後に、次年度より中学校にも軟式野球部を創部します。軟式と硬式の違いはありますが、「自ら考え、実行する野球」と「勉強プラスもうひとつ」は高校と同じように指導していく方針です。

入学試験に向けたご案内

北陸学院中学校 Hokuriku Gakuin Junior high school

- ▶入試
1月18日(土)
- ▶願書受付(土日、祝日は除く)
1月7日(火)~1月14日(火)

北陸学院高等学校 Hokuriku Gakuin Senior high school

- ▶学校・入試説明会
11月23日(土・祝) 申込締切 11/15(金)
12月7日(土) 申込締切 11/29(金)
- 対象/中学2・3年生とその保護者
参加お申し込みは、本校配布のチラシ申込書をFAX、またはホームページよりお願いします。
- ▶入試
1月11日(土) 推薦入試
1月31日(金) 一般入試(一次)



確かな結果へとつなげる 大学への「進学力」

本校の進路指導は、生徒の志望や個性を尊重しながら実現へと導くことが特長です。入学時より実践的な講習会を開催するなど、早い段階から卒業後の姿を意識させ、進路に向かってどんな学習が必要なのかを具体的にしていきます。一人ひとりへのきめ細やかな指導により、現役の4年制大学進学率が4年連続70%を超えました。

パブリシティ企画

Hokuriku Gakuin Senior High School

北陸学院 高等学校

4年制大学等の主な合格実績(2015年度~2018年度卒業生)

関西地区	北陸地区	関東地区
同志社大学 関西学院大学 神戸女学院大学 同志社女子大学 桃山学院大学 大阪青山大学 大阪学院大学 大阪経済法科大学 大阪芸術大学 大阪樟蔭女子大学 関西外国語大学 関西大学	京都外国語大学 京都産業大学 京都造形芸術大学 京都橘大学 京都ノートルダム女子大学 近畿大学 武庫川女子大学 立命館大学 龍谷大学 航空保安大学校	千葉大学 明治学院大学 青山学院大学 関東学院大学 国際基督教大学 東京女子大学 東洋英和女学院大学 フェリス学院大学 学習院大学 上智大学 白百合女子大学 聖心女子大学 津田塾大学 帝京大学 東京造形大学 法政大学 立教大学 早稲田大学 防衛大学校
	金沢大学 金沢美術工芸大学 富山大学 石川県立大学 石川県立看護大学 公立小松大学 北陸学院大学 金沢医科大学 金沢学院大学 金沢工業大学 金沢星稜大学 北陸大学	
		東北地区 奥羽大学 東北学院大学 東北芸術工科大学
		東海地区 名古屋大学 金城学院大学 東海大学 名古屋外国語大学 名城大学

- 留学
アメリカ
カナダ
イギリス
ドイツ
オーストラリア

同志社大学 関西学院大学 明治学院大学

特別推薦枠で 憧れの難関私立大学へ!

本校は同志社大学に14名、関西学院大学に21名、明治学院大学に6名の特別推薦枠を有しています。実際、2019年度入試結果においても、同志社大学に10名、関西学院大学に9名、明治学院大学に5名の合格者を輩出。県内でこれらの大学に最も近い学校といえます。他にも全国におよそ130大学・約650名の指定校推薦枠を有しています。

※募集枠は毎年変更があります。詳しい指定校一覧はHPよりご確認ください。

webサイトリニューアル!

この度、本校webサイトがリニューアル!中学校と高等学校のサイトが別々になり、閲覧しやすくなりました。情報も追加し、本校の取り組みをさらに伝えられるようなサイトになっていますので、ぜひご覧ください。



▲中学校・高等学校の共通TOPページ



▲中学校TOPページ



▲高等学校TOPページ

中学生のお子様をもつ保護者の方へ^{※1}

■スカラシップ奨学金制度^{※2}………下記成績優秀者の3年間の授業料を無償^{※3}とします

- ①本校の入学試験で5教科の合計点が400点以上の入学者
- ②本校を推薦入試(専願・併願とも)で受験し合格した者のうち、3年次の9教科評定の合計が本校の定める基準以上の入学者

①②ともに特別進学コース・総合進学コースどちらのコースを受験した場合も適用されます。

■高等学校等就学支援金………世帯年収590万円未満の生徒の授業料が無償となります^{※4}

2020年4月から制度が変わり、私立高校等に通う生徒の「高等学校等就学支援金」の上限額引き上げが行われます。

- ※1:詳細は、本校事務室までお問い合わせください。
- ※2:本制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断となることもあります。
- ※3:入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。
- ※4:世帯年収590万円以上910万円未満の生徒の授業料は、年間約12万円が軽減されます。

ミッションならでの、「学ぶ環境」!



グロリア・チャペル
毎朝の礼拝を行うチャペルです。創立100周年を記念して導入したパイプオルガンの音色に心を落ち着かせ、自分と向き合えます。



電子黒板
すべての教室に設置。動画や音声、画像を使いながら授業を行うため、生徒たちが、教員に質問しやすい環境を職員室前に整備。休み時間生徒の興味・関心を引くことができます。

学習スペース
生徒たちが、教員に質問しやすい環境を職員室前に整備。休み時間生徒の興味・関心を引くことができます。

北陸学院中学校
北陸学院高等学校

〒920-8563 金沢市飛梅町 1-10
中学/TEL.076-262-3012 FAX.076-262-3096
高校/TEL.076-221-1944 FAX.076-224-4398



<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/>

月刊北國アクトス2019年12月号掲載記事

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう